

2007年7月期 中間決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I . 業界動向
- II . 2007年1月中間期決算概況
- III . 2007年7月期通期業績見通し
- IV . 中期経営計画と今後の取組み
- V . 参考資料

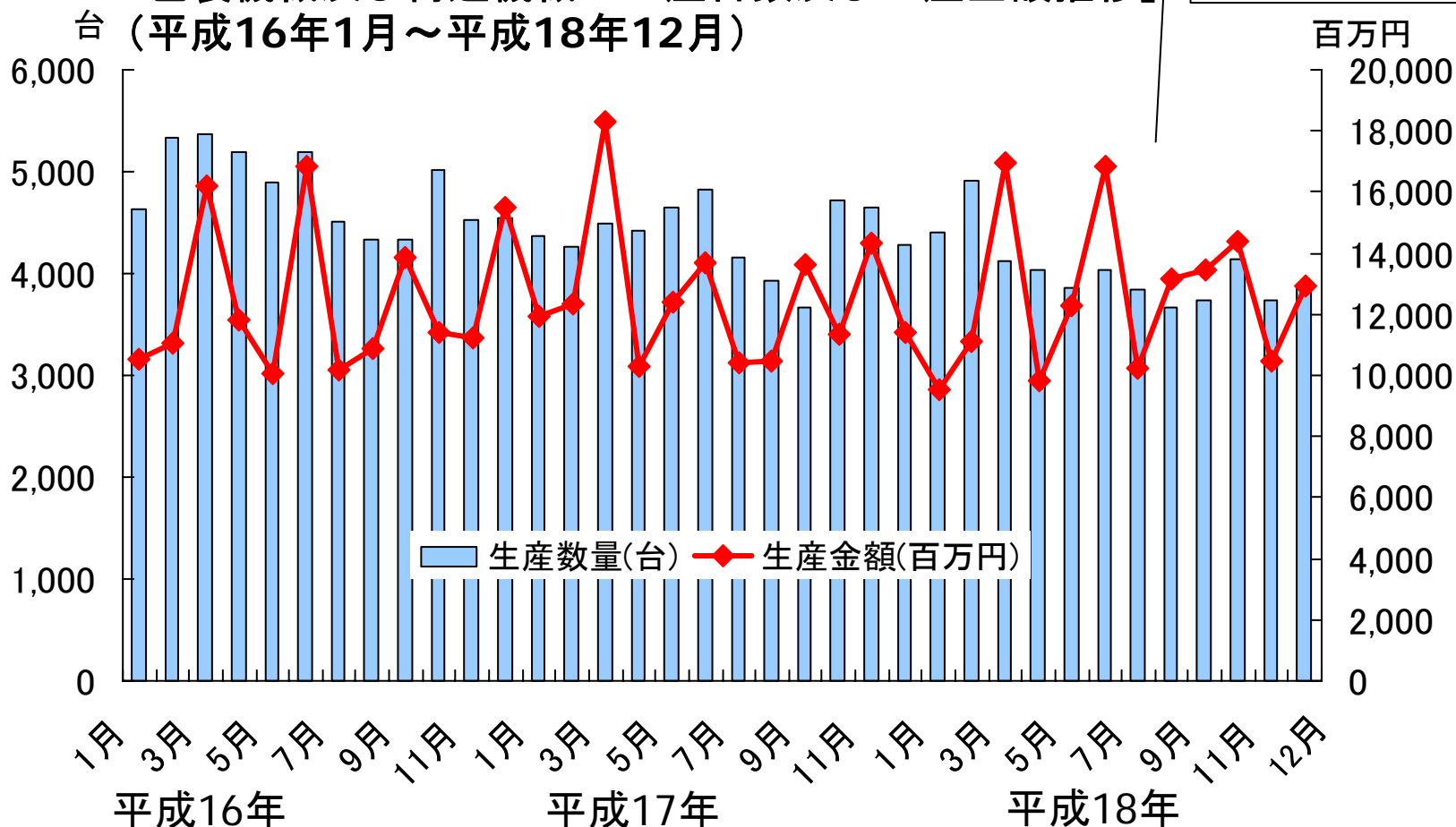
業界動向-1

1台当りの平均生産金額は
増加傾向

18年計
生産金額
前年比0.7%増
生産台数
前年比7.8%減

経産省 機械統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」
(平成16年1月～平成18年12月)

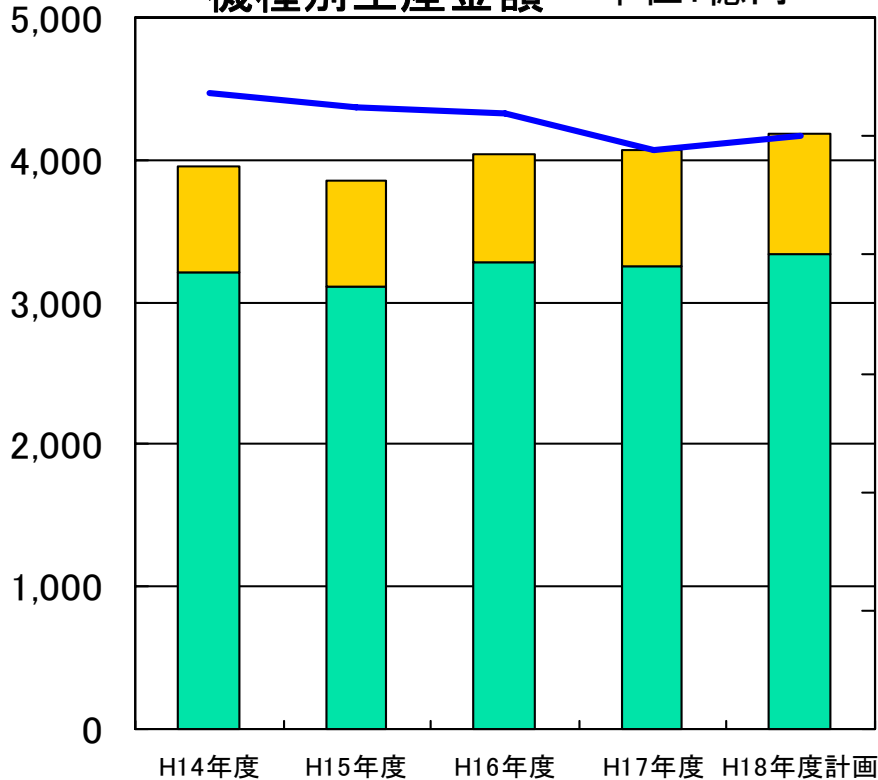


業界動向-2

(社)日本包装機械工業会

「包装機械及び荷造機械生産高統計」

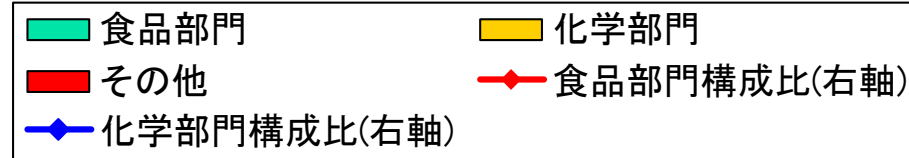
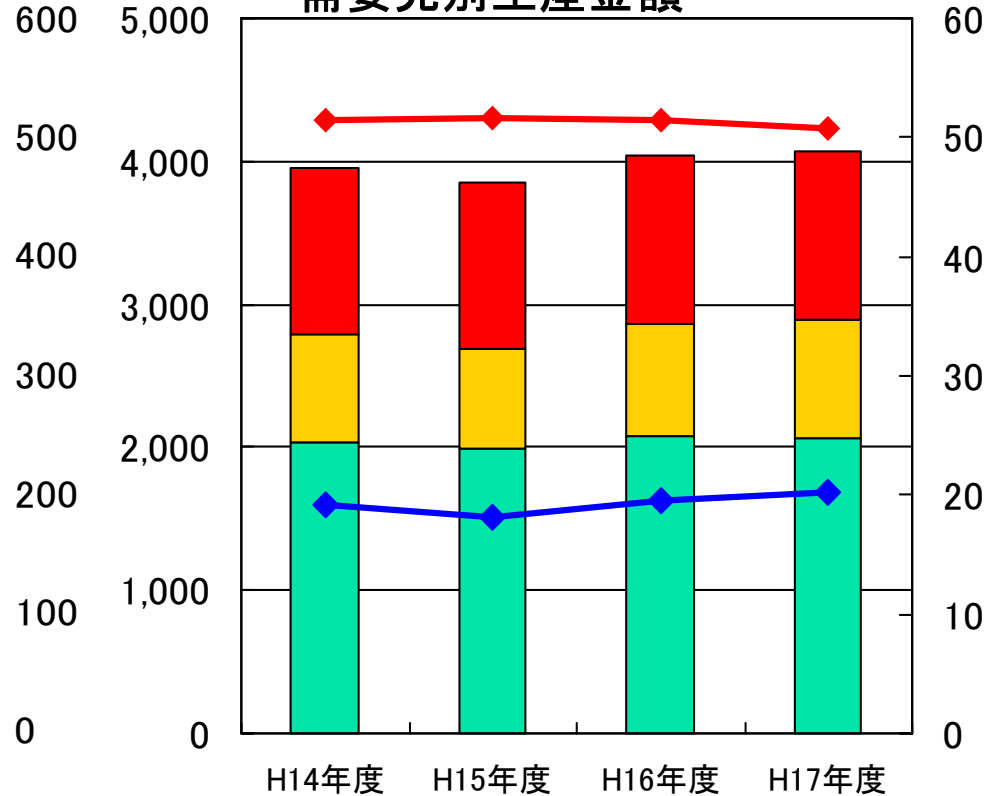
機種別生産金額 単位:億円



単位:億円

需要先別生産金額

単位:%



市場の見通し

- ユーザー業界の設備投資は、業種間・企業間格差が大きく、二極化の傾向が強まる
- 市場ニーズは、多様化と高度化が加速している
- 少子高齢化社会の到来により、最大需要先の食品部門の設備投資意欲は、全体として慎重姿勢が続いている
- 大企業を中心に好調な企業業績を背景とした積極的な設備投資の増加が期待できる
- 高機能、高品質の包装を必要とするマーケットは増加傾向にある

II. 2007年1月中間期 決算概況

2007年1月中間期決算概要

(単位:百万円、%)

	2006年1月 中間期		2007年1月 中間期		前期比		2007年1月 中間期計画*		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	1,620	100.0	2,082	100.0	+462	+28.5	2,000	+82	+4.1
売上総利益	509	31.4	555	26.7	+45	+9.0	534	+21	+3.9
営業利益	59	3.7	109	5.3	+50	+84.3	81	+28	+34.6
経常利益	65	4.0	112	5.4	+46	+72.0	85	+27	+31.8
当期純利益	42	2.6	68	3.3	+26	+63.5	50	18	+36.0

注)2006年11月28日業績予想修正時の計画

増収・増益

- 主に、中小企業向けの低価格機種が一部回復したことにより販売台数が増加。高価格の新機種の販売が寄与したことにより売上高は前期比28.5%増収。
- ただし、計画に対しては、当中間期に売上計上が可能な案件の受注が低迷したことと、一部、高額案件の売上計上が下期にずれ込んだ為、当初計画を下回った。
- 総利益は、低粗利益機種の構成比が増加して、機械の平均粗利率が低下したことにより、増益率は縮小した。
- 販管費は人件費が増加したものの、展示会出展費用がなかったことにより減少。
- 経常利益は営業外費用が増加したものの前期比では大幅に増加。経常利益率も1.4ポイント改善した。

品目別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2006年1月 中間期	2007年 1月中間期	前年同期比増減		2007年1月 中間期計画※
			金額	率	
給袋自動包装機	718	1,107	+389	+54.2	1,080
製袋自動包装機	301	269	△32	△10.6	269
ガス充填自動包装機	39	126	87	+223.9	126
包装関連機器等	184	127	△57	△31.2	115
保守消耗部品その他	376	451	+74	+19.9	410
合計	1,620	2,082	+462	+28.5	2,000

注)2006年11月28日業績予想修正時の計画

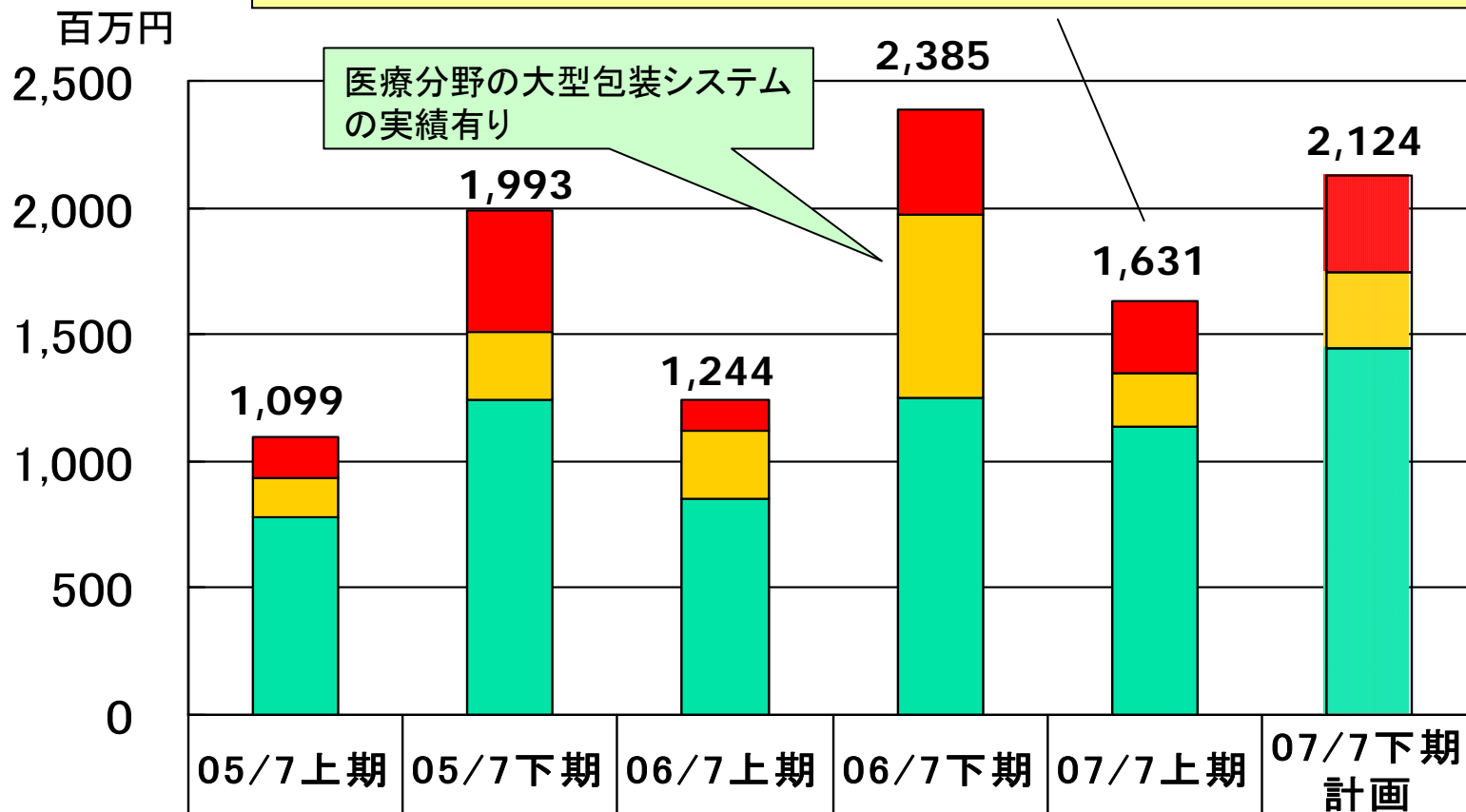
前期比：+462百万円、+28.5%

全体として販売台数が増加、特に高価格の新機種の販売が寄与。

- ・給袋自動包装機： +389百万円・・・OEM機20台増、高価格の新機種3台の実績
- ・製袋自動包装機： △32百万円・・・30百万円以上の高価格機種の実績台数が減少(△1台)
- ・ガス充填自動包装機： +87百万円・・・低価格機種の構成比が減少し、標準機種が増加
- ・包装関連機器等： △57百万円・・・機器で3台増加したが、システムで前期に比べ30百万円以上の高額案件実績が2件減少
- ・保守消耗部品その他： +74百万円・・・高額保守案件の受注件数が増加、海外部品売上の増加

エンドユーザー業種別売上高

食品業界の増加により、上期機械売上高は前年同期比31.1%増



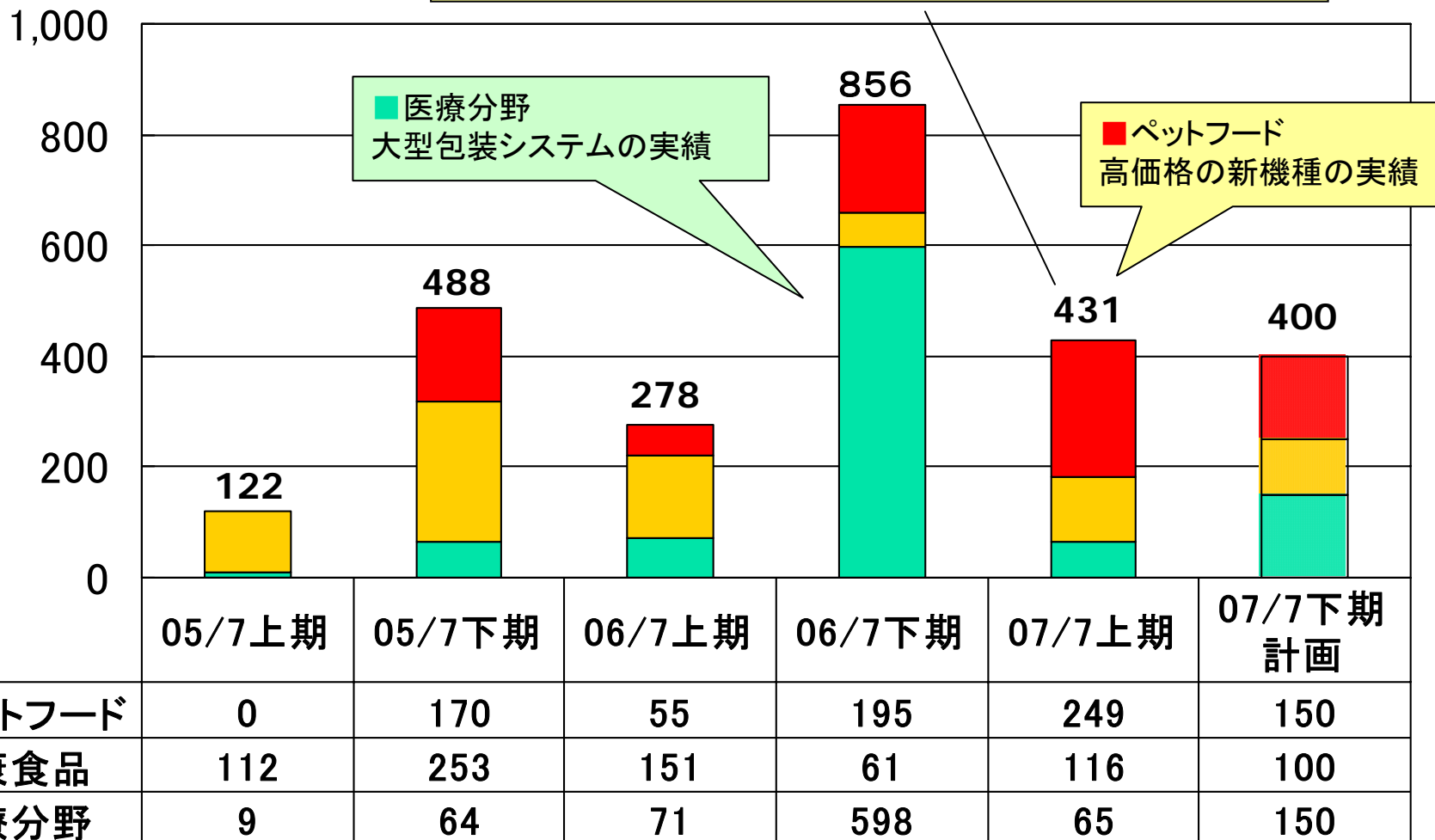
■ その他	167	484	126	413	281	380
■ 化学関連業界	150	270	262	722	210	300
■ 食品業界	781	1,238	855	1,249	1,139	1,444

(注) 売上高は、機械の売上高のみ

重点分野別売上高

百万円

ペットフードの増加により、前年同期比54.7%増

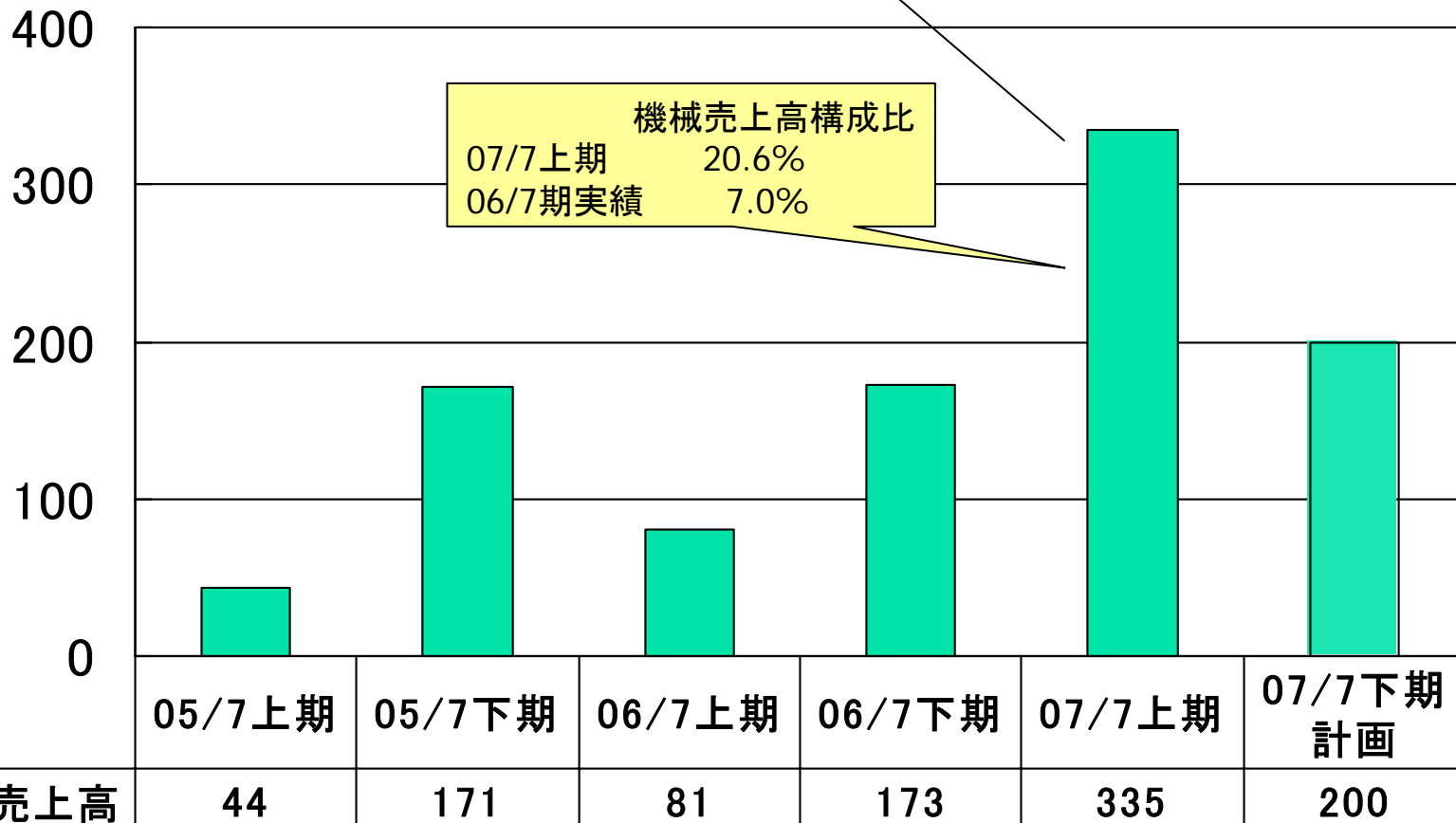


(注)売上高は、機械の売上高のみ

海外売上高(エンユーザー)

高価格機種の販売台数増加により、前年同期比311.1%増

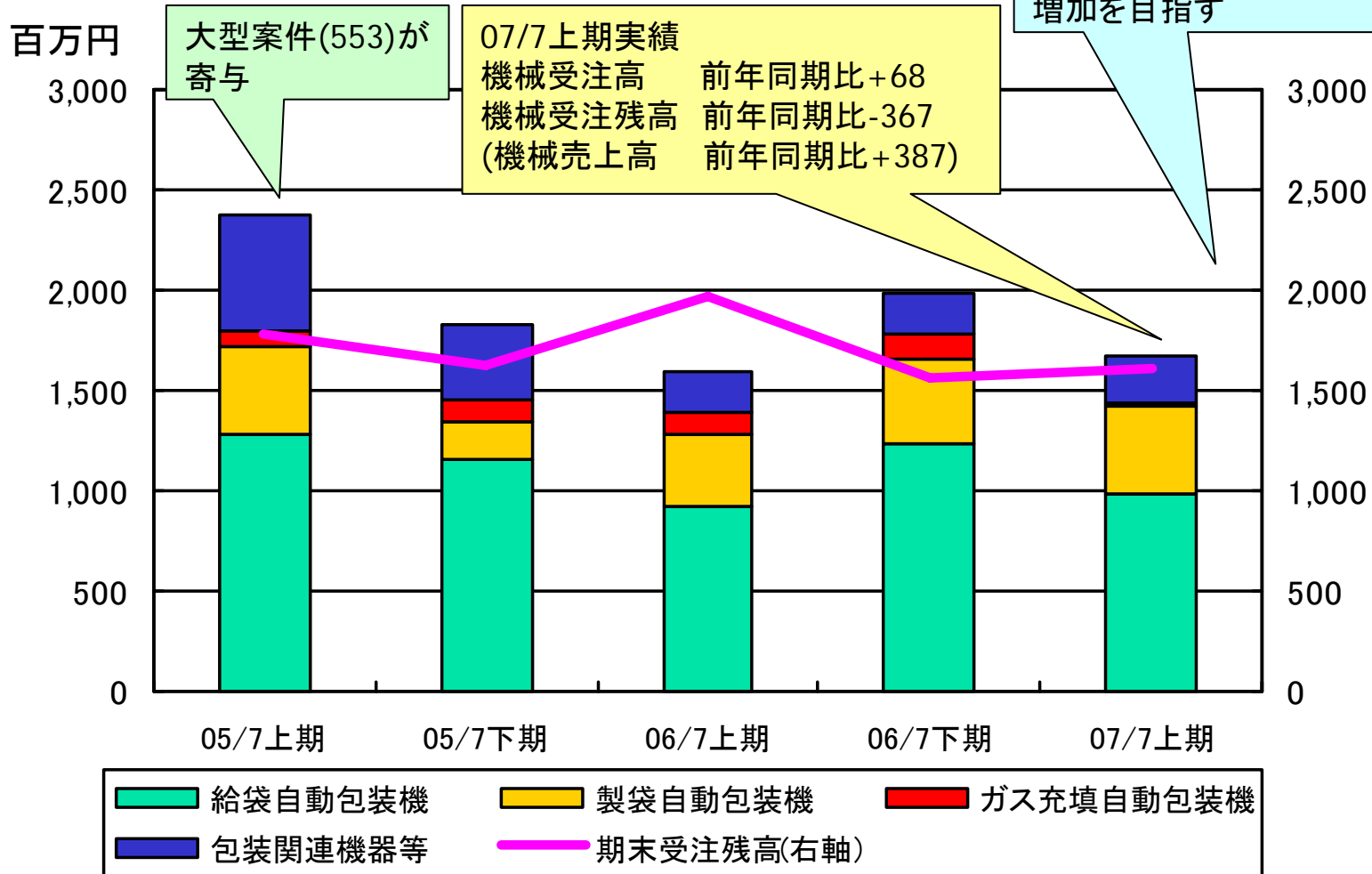
百万円



(注)売上高は、機械の売上高のみ

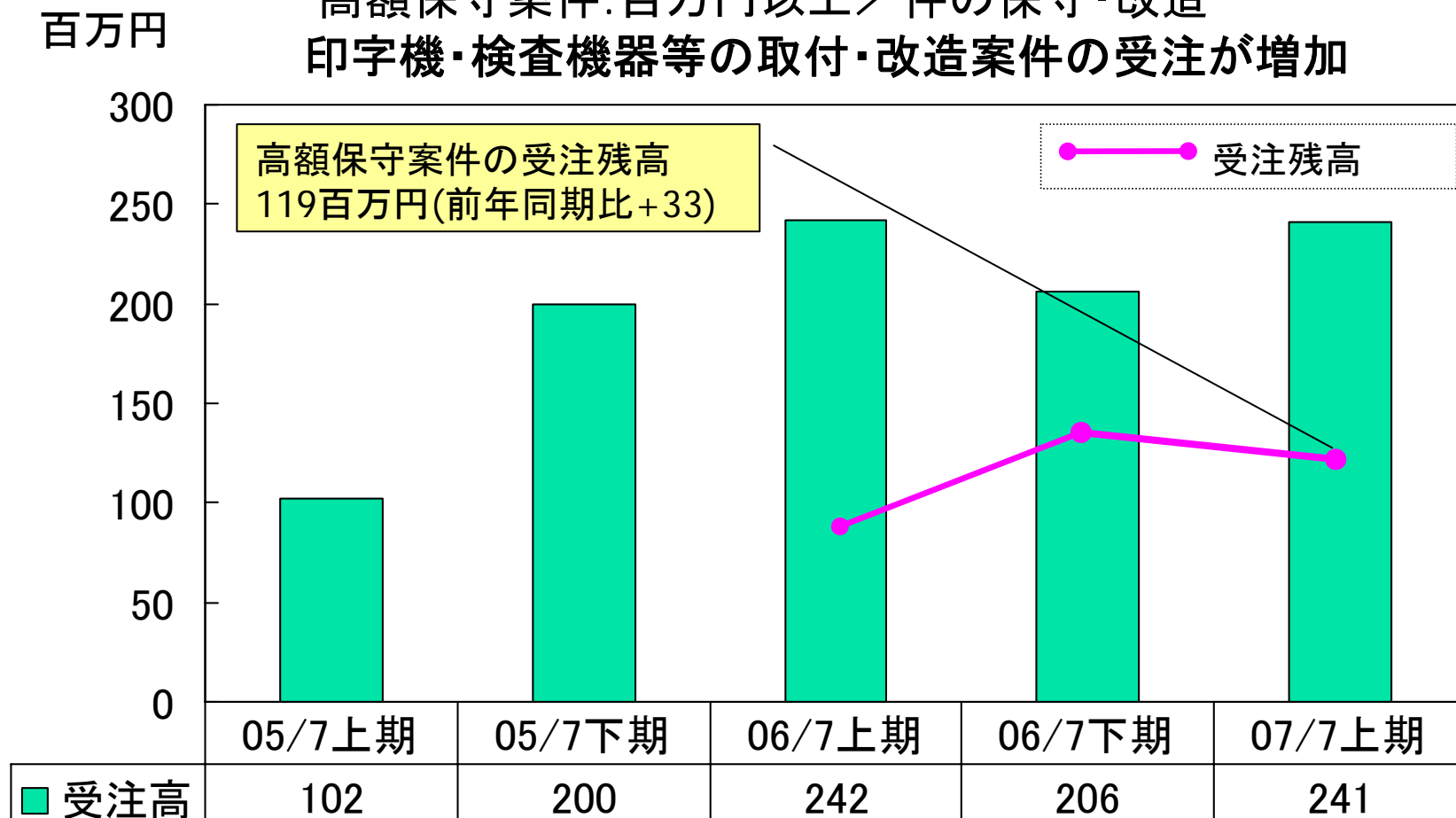
機械の受注動向

＜07/7下期計画＞
新機種と大型案件の受注
活動強化で、前年同期比
増加を目指す



高額保守案件の受注高推移

高額保守案件:百万円以上／件の保守・改造
印字機・検査機器等の取付・改造案件の受注が増加



注)印字機・検査機等の仕入機器の費用も含む

仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

Ⅲ. 2007年7月期 通期業績見通し

2007年7月期業績予想

(単位:百万円、%)

	2006年7月期		2007年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	4,394	100.0	4,600	100.0	+205	+4.7%
売上総利益	1,217	27.7	1,307	28.4	+89	+7.3%
営業利益	278	6.3	397	8.6	+118	+42.6%
経常利益	285	6.5	400	8.7	+114	+39.9%
当期純利益	154	3.5	235	5.1	+80	+52.4%

注) 中間決算発表時、一部内訳修正の計画

増収・増益

- 高価格機種の販売台数が増加
下期取組み: 食品業界(製菓・乳業メーカー等)の増加
- 売上高は前期比4.7%増の46億円を見込む
- 総利益率は、前期比0.7ポイント改善し28.4%
下期取組み: リート効果とコストダウンにて新機種の粗利率を大幅増加、生産性向上と製造経費削減
- 販管費は前期比3%減に抑制することから、営業利益率は2.3ポイント改善
- 当期純利益は、前期比52%増

2007年7月期売上高予想

(単位:百万円、%)

	06/7上期		06/7下期		07/7上期		07/7下期 (予想)	
	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比
給袋自動包装機	718	44.3	1,299	46.8	1,107	53.2	1,208	48.0
製袋自動包装機	301	18.6	302	10.9	269	12.9	420	16.7
ガス充填自動包装機	39	2.4	50	1.8	126	6.1	158	6.3
包装関連機器等	184	11.4	733	26.4	127	6.1	338	13.5
保守消耗部品その他	376	23.2	389	14.0	451	21.7	394	15.6
合計	1,620	100.0	2,774	100.0	2,082	100.0	2,518	100.0

品目別売上高通期見通し

前期比：+205百万円、+4.7%

全体として販売台数が増加、特に高価格の新機種の販売が寄与。

- 給袋自動包装機:2,315(前期比+297百万円)・・・海外向け及び高価格機種の増加
- 製袋自動包装機:690(前期比+86百万円)・・・高価格の新機種の販売効果
- ガス充填自動包装機:285(前期比+195百万円)・・・新機種の販売効果、需要回復により増加
- 包装関連機器等:465(前期比△453百万円)・・・大型案件の減少により減額
- 保守消耗部品その他:845(前期比+80百万円)・・・高額保守案件数の増加、海外部品売上の増加

IV. 中期経営計画と 今後の取組み

中期経営計画(2006年7月期～2008年7月期)

◆経営ビジョン

1. ドライ物向けのロータリー式自動包装機No. 1企業
2. 知的労働特化型企业
3. 包装システムの市場創造型プランナー

◆経営目標 2008年7月期

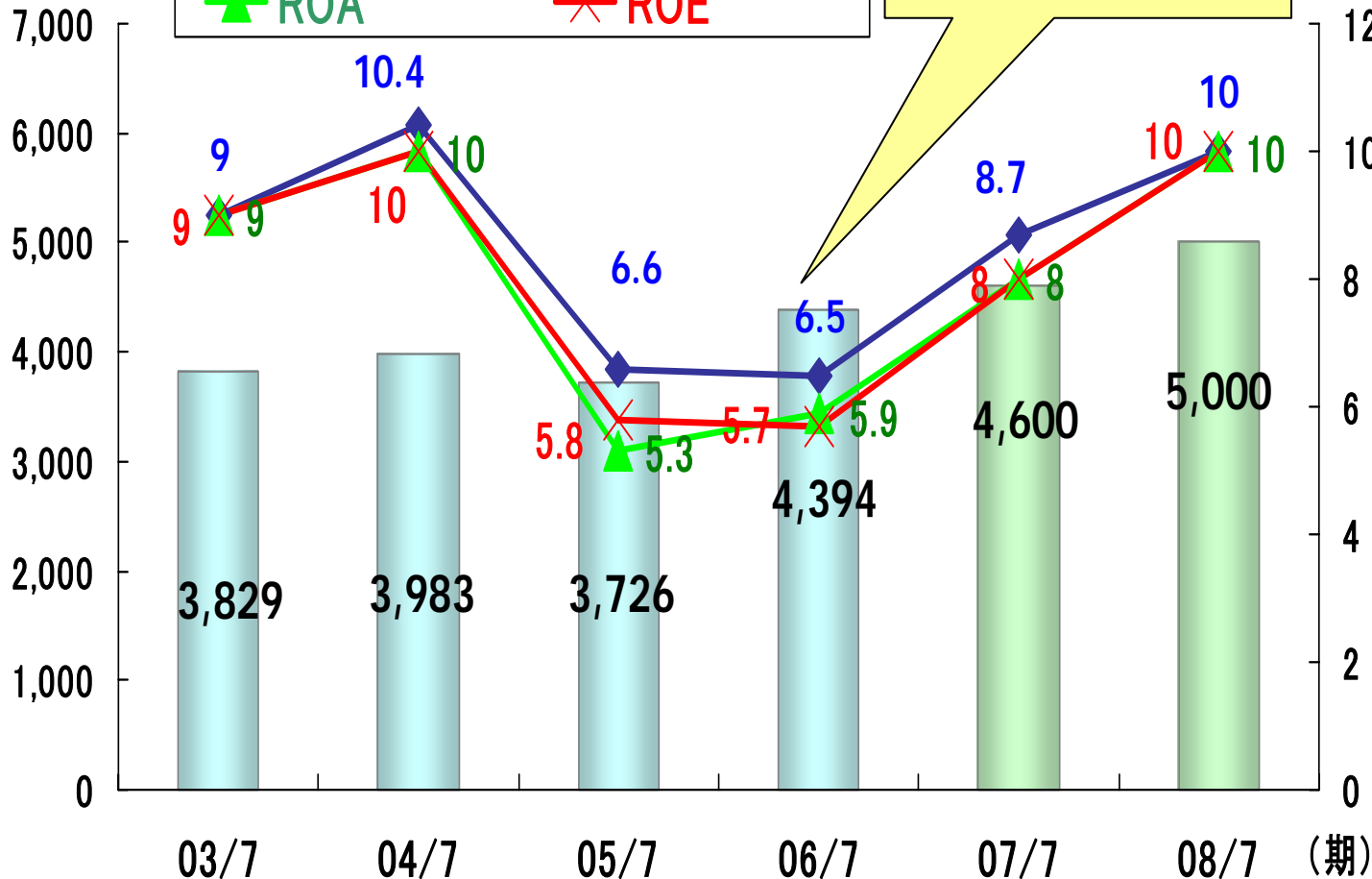
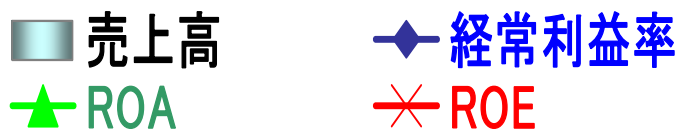
1. 売上高経常利益率 10%以上
2. ROA(総資産経常利益率) 10%以上
3. ROE(自己資本当期純利益率) 10%以上
4. 利益生産性(全従業員一人当たり経常利益) 4百万円以上

◆業績目標 2008年7月期

1. 売上高 5,000百万円以上
2. 営業利益 495百万円以上
3. 経常利益 500百万円以上
4. 当期純利益 295百万円以上

中期経営目標

(百万円)



06/7期より役員賞与の
会計基準を適用
(従来基準)
経常利益率:7.2%
ROA:6.5%
ROE:6.9%

<08/7期計画>
07/7期比
売上総利益増
販管費微増にて、
各指標の増加を
目指す

<07/7期計画>
役員賞与引当金
を吸収した上で、
06/7期比
売上総利益増
販管費減にて、
各指標の増加を
目指す

← 中期経営計画 →

中期経営目標達成に向けての取組み

1. 中長期的な成長基盤を強化するための戦略的投資等の増加
 - 販売促進投資・研究開発投資・人材投資等
2. 営業体制の強化と海外市場の開拓・販路の拡大
3. チャック付袋対応機種のリニューアル強化と拡販
4. ガス充填システム搭載機種の拡販
5. 重点分野(医療分野・健康食品・ペットフード等)への深耕

各取組みの進捗状況と今後の計画

① 成長基盤強化のための戦略的投資等の増加

■ 販売促進投資

- 展示会(内覧会含む)を中心とした販売促進活動の強化

■ 研究開発投資

- 開発体制の強化
- 新機種開発の強化

高機能・高価格機種の開発

	06/7期	07/1中間期
研究開発費	89百万円	60百万円
開発件数	4機種	2機種
給袋自動包装機	1機種	1機種
製袋自動包装機	2機種	1機種
ガス充填自動包装機	1機種	

■ 人材投資

- 人材確保(新卒・中途採用、臨時雇用者)と人材育成の強化

■ 設備投資:新工場建設に着工(約550百万円:土地含む)

生産効率の向上、大型自動包装機・包装システムの生産対応力の強化

各取組みの進捗状況と今後の計画

②営業体制の強化と海外市場の開拓・販路の拡大

■ 東京営業部の強化

■ 海外市場の開拓

■ グローバル企業の
製造拠点への
機械供給の拡大

■ 日系企業の海外
工場への拡販

■ 国内販路の拡大

■ 新規顧客・販路
の開拓

	06/7期	07/1中間期
海外売上高*	283百万円	366百万円
売上高構成比	6.4%	17.6%
輸出国	フランス、ロシア、 ブラジル、アルゼンチン、 タイ、中国 等	フランス、アメリカ、 イギリス、ベトナム、 インドネシア、中国 等

* 海外部品売上高含む

受注実績ベース	06/7期	07/1中間期
新規顧客開拓数	28社	15社
業種	製茶、製薬、食品、 健康食品、 ペットフード 等	製茶、製薬、食品、 健康食品、 ペットフード 等
新規販路開拓数	2社	2社
業種	商社	エンジニアリング会社、 機械メーカー

各取組みの進捗状況と今後の計画

③チャック付袋対応機種種のラインナップ強化と拡販

■チャック付スタンドパウチ

対応機種種(STタイプ)

■給袋自動包装機

2000型、2250型、355型、700FZ型

256型・356型(07/7期上期追加)

■製袋自動包装機

2700C型、355B型

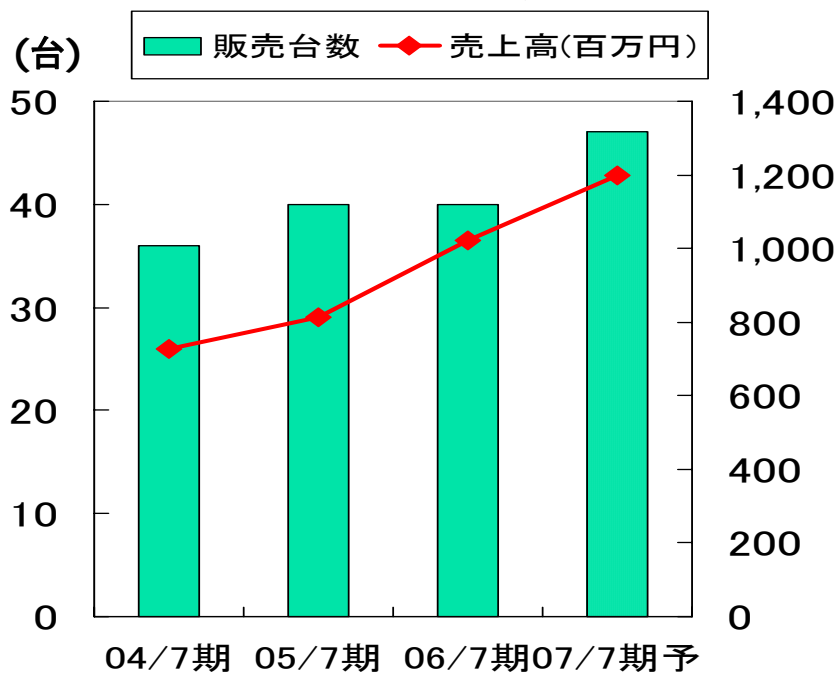
6600C型(07/7期上期追加)

■チャック付製袋自動包装機

2700C型、6700C型



STタイプ販売台数/売上高



各取組みの進捗状況と今後の計画

④ ガス充填システム搭載機種 of 拡販

■ ガス充填自動包装機

過去2期間売上高低迷⇒新機種投入で売上高回復へ

■ 中袋用新機種(GS2H型)の拡販(06/7期開発)

07/7期上期実績 販売台数 2台

■ 大袋用機の高速機開発と販売開始(07/7期下期予定)

■ シングルロータリーガス充填システム

■ 給袋自動包装機・製袋自動包装機のガス充填システム搭載機種 of 拡販

	05/7期	06/7期	07/7期予想
販売台数	6台	9台	9台以上
売上高(百万円)	201	247	300以上

* 本売上と、海外売上・STタイプ売上は、相互に重複部分が有り

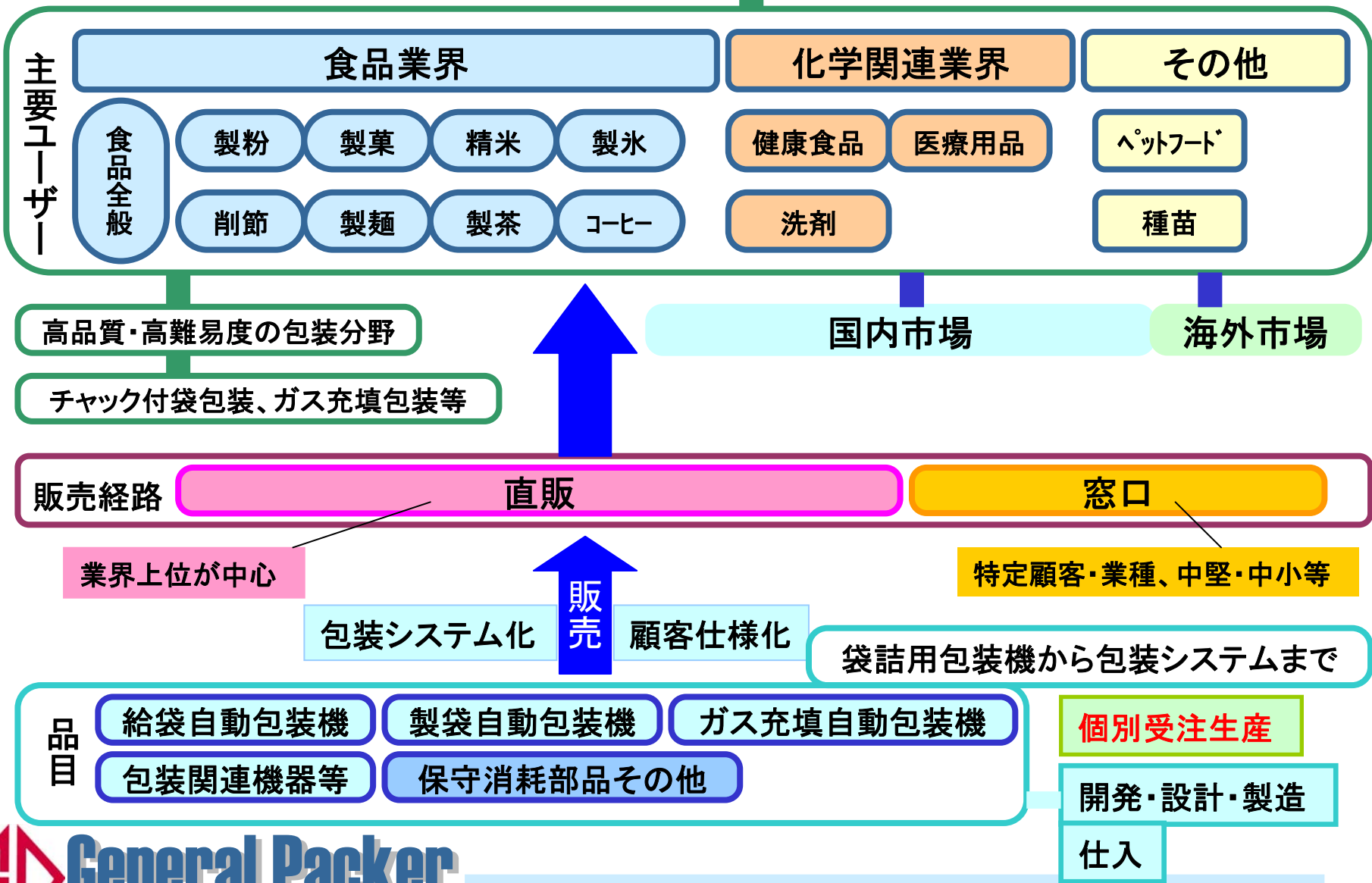
V. 參考資料

会社概要(2007年2月1日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 97名(その他臨時雇用者23名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部

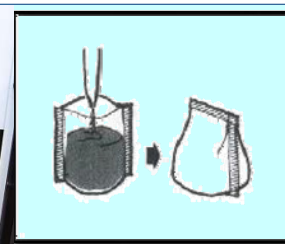
事業内容

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装用機械・システム



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

製袋自動包装機

フィルム



製袋装置

充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

ガス充填自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装・ガス充填装置

花かつお、バターピーナッツ等の袋詰用包装機。

包装関連機器等

付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、
段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

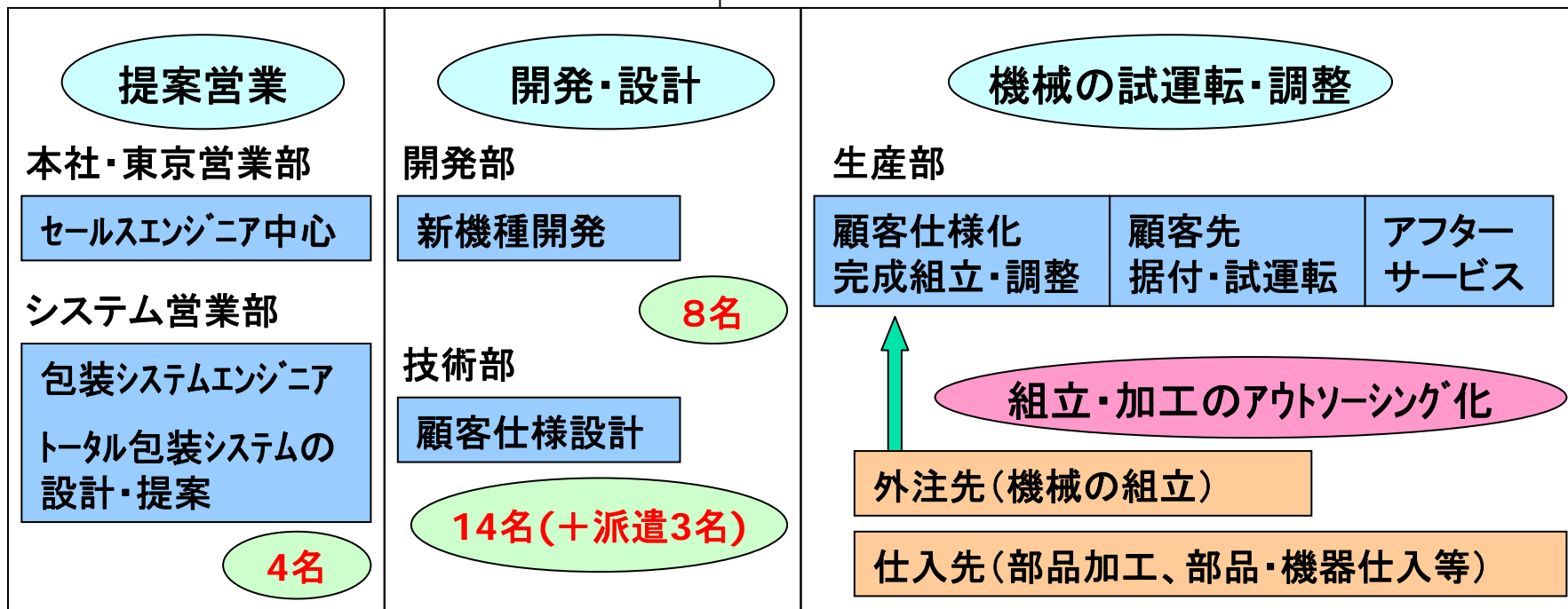
当社販売機械の保守、修理・交換用部品、
印字機等の取付・改造等

知的労働特化型企业(経営ビジョン)

『少数精鋭主義に徹し、提案営業や開発・設計、機械の試運転・調整等の付加価値の高い業務に特化した企業』を目指す

付加価値の高い業務
に特化した企業

少数精鋭主義



人数 : 開発・設計系の人材数(H19/1月末現在)

企業ビジョン

- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



株主還元

株式分割による流動性の向上

2007年2月に株式分割(1株⇒2株)を実施

配当政策

- 株式の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、安定配当を堅持しつつ、配当性向30%を目安に、業績動向を見ながら段階的に配当金の増加を図る。

	2005/7期	2006/7期	2007/7期予想
中間配当	6円	6円	7円
期末配当	6円	6円	3.50円
年間配当	12円	12円	10.50円
当期純利益／株	27.19円	34.29円	26.14円
配当性向	44.1%	35.0%	26.8%

* 2007/7期の1株当たり当期純利益及び配当性向は、株式分割による遡及調整後

包装システムの市場創造型トータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社



当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川
〒481-8601
愛知県北名古屋市字福寺神明65
電話:0568-23-3111 FAX:0568-22-3222
E-mail: x-hasegawa@general-packer.co.jp